

# 歴史的建造物保存・活用のためのファンド形成のための研究 プロジェクト代表者:南 健悟

## 1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、小樽市に数多く存在する歴史的建造物の保存・活用のための基金を設立することにある。そのための手法として寄付型クラウドファンディングを設立し、情報提供のための冊子『小樽れっけん』を発行する。

## 2. 具体的な取組内容

本プロジェクトの本年度の最大の課題であった歴史的建造物保存・活用基金の受け皿となるNPO法人EGA-Oの設立は、2015年12月18日に北海道庁webサイトにて公開・閲覧となり、3ヶ月の閲覧期間を経て、2016年3月下旬に設立認可が下りる予定である。

また、歴史的建造物への関心を惹くための情報冊子である『小樽れっけん』は、2015年11月に第1号を刊行、小樽市内各所で無料配布した他、市内中学校にも送られた。

加えて、東京・関西の両小樽会および緑丘会へも送付された。現在は、クラウドファンディングを運営するための準備に入っており、他団体の例を体験すべく、北海道限定の寄付型クラウドファンディングであるact nowにて、試行的な資金募集プロジェクトを始めるべく準備を始めている。順調にいけば、NPO法人設立と同じ時期に、このファンディングが始まる予定である。

## 3. プロジェクトの成果及び地域への還元

基金の受け皿となるNPO法人は通常の株式会社と比べて、設立のために半年以上の期間が必要となり、この3月末にようやく認可が下りる予定である。そのため、ファンディングとしての成果はいまだない。ただし、その設立はすでに北海道新聞にて報道されている。

他方で、情報誌である『小樽れっけん』は、昨年度の創刊準備零号を含めると本年度末までに、3号が刊行されることが決まっており、これは市内および小樽関係者へと配布されている。



北海道新聞小樽版2016/2/23